

(様式2)

令和 3 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590100879
法人名	株式会社 あけぼの
事業所名	グループホーム酒屋
所在地	〒950-0324 新潟市江南区酒屋町330番地3
自己評価作成日	令和4年1月11日
評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kajokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JijyosyoCd=1590100879-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kajokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JijyosyoCd=1590100879-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2
訪問調査日	令和4年2月22日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

運営理念に「家庭的な雰囲気の中で、その人らしく生活を送り、幸せを感じて頂けるよう一人ひとりと向き合い寄り添うことで成果ある支援をさせていただきます」との理念を掲げ、入居者様とご家族様の希望や意向等を可能な限り反映したサービス提供に取り組んでおります。入居されてから共同生活を送る中で聞かれた意見等を必要に応じてご家族様にご協力を頂戴し、スタッフと協働でご本人様を支えられるように関係性の維持に努めております。これまでは、地域の小学校と中学校の職場体験実習の受入れを通じて、お互いに交流を図っていましたが、世界的な情勢により交流を図ることが難しくご利用者様にとって社会的な交流の機会が少なくなっておりますが、入居者様同士で交流を図りホーム内でも集団のレクリエーション活動や個別に活動し役割を通じて楽しみや充実感を感じていただけるようにスタッフ一丸となりサービス提供に取り組んでおります。健康面では毎週の訪問看護と24時間のオンコール体制により、緊急時に指示や助言を仰げる体制と月に2回の往診診療により医療との連携により、健康面で安心して生活を送れるように体制を維持しております。今後も入居者様とご家族様並びに関係者の皆様に満足していただけるように成果ある支援に取り組んで参ります。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○一人ひとりに寄り添ったサービスを目指す取り組み  
事業所の特性を考慮し職員で作り上げた理念は、サービスの根幹とする意識付けに努め、実践に繋げる取り組みが行われている。週1回開催される業務改善会議は、事業所の目指すサービスと実践しているケアとのズレや気づきを話し合い、全職員が同じ方向でサービスが提供できるよう振り返る機会となっている。“一人ひとりに寄り添う”を目指し、日勤リーダーは、毎朝、コミュニケーションの時間を設け、利用者一人ひとりの想いを受け止めるように努めている。また、日頃の関わりの中から帰宅したいと言う方には自宅へ付き添い、墓参りに行きたい方には一緒にお参りに行くなど、その時々を利用者の想いを大切に受け止めた支援がなされている。家族の協力で好みのお茶を用意してもらい飲めるようになったなど、利用者が、今、そして瞬間瞬間に主体的な暮らしを展開できるよう“できることはやってみよう”という管理者の姿勢があった。そして、その姿勢は職員が積極的に意見を言い合いながら、“一人ひとりに寄り添う”“やってみるケア”を行う職場風土を作っていた。

### ○安心・安全に結びつく医療体制

入居後も、かかりつけ医療機関への受診を希望される方は継続しており、また、委託医へ移行し月2回の往診診療を受診される方もいる。毎週の訪問看護と24時間のオンコール体制によって、利用者の毎日の健康状態や身体状況の変化に迅速に対応できるよう支援している。管理者や看護師は「情報提供表」を作成し、訪問診療時、医師に伝え適切な医療が受けられる体制になっている。内服等の変更があった場合は、ご家族へ電話で伝え情報の共有に努めながら健康面でも安心して生活を送れるよう取り組んでいる。